

# 要 望 書

( 国 )

平成 2 8 年度

神奈川県鉄道輸送力増強促進会議

日ごろから、神奈川県内の鉄道網等の整備につきましては、格別のご高配を賜り、心から感謝申し上げます。

神奈川県では、地域の特色や資源を生かした、活力と魅力ある県土の形成に取り組んでいます。そのためには、県内交通基盤の整備、特に鉄道網の整備促進が不可欠であり、また、近年、鉄道輸送に求められる安全性、利便性、速達性、快適性等への県民の期待はますます高まってきています。

本年4月には、交通政策審議会答申第198号が示され、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトに県内の路線も位置づけられました。

また、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（バリアフリー法）に基づく「移動等円滑化の促進に関する基本方針」で各施設等の整備目標が定められています。しかしながら、駅ホームからの転落事故が依然として発生し、転落防止施設の整備や心のバリアフリーなど、駅ホームの安全対策について、全国的に関心が高まってきています。

このほかにも、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックへの対応や、発生が懸念される大規模地震や頻発する大規模な風水害への対策が求められるなど、鉄道を取り巻く環境は大きく変化しています。

そうした中で、神奈川県、県内全市町村、及び経済団体で構成する「神奈川県鉄道輸送力増強促進会議」では、望ましい県土の形成をめざして、新線の建設や線増、新駅の設置、貨物線の旅客化、さらには、バリアフリー化・シームレス化のための駅施設の整備などについて、できる限り鉄道事業者への協力を行うとともに、早期実現を要望しているところです。

神奈川県においては、将来の総合的な交通ネットワークの形成をめざし、望ましい都市交通を実現するための交通施策の基本的な方向を示した「かながわ交通計画」に基づき、県内の鉄道網の整備促進に努めており、「神奈川東部方面線」の整備や交通に関するバリアフリー化への対応など、具体的な取り組みを進めています。

しかし、鉄道網の充実・強化や輸送力増強にかかる施設等の早期整備は、鉄道事業者や地方自治体のみの力では、制度や資金の面から、実現化がますます困難になりつつあります。

つきましては、活力と魅力あふれる神奈川の実現のために、国におかれましても、鉄道網等の整備促進に係る次の事項に、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

さらに、駅ホームでの安全対策や災害対策など、鉄道輸送の安全確保のための措置を充実されるよう、あわせてお願い申し上げます。

- 1 交通政策審議会答申（平成28年4月20日答申第198号）でプロジェクトに位置づけられた路線の整備をはじめ、新設路線の整備、既存路線への新駅設置、改良、輸送力増強及び移動等の円滑化に係る施設整備等を早期に実現するため、新たな整備方式の導入や補助制度の充実など、国の支援措置を拡充・強化されたい。
- 2 支援措置の拡充・強化に当たっては、地方負担に十分配慮し、地方交付税措置の拡充など、地方自治体に対し、適切な財源措置を講じられたい。
- 3 地方自治体が、これらの整備事業とあわせて、地域の特性を生かした良好なまちづくりができるよう、国の支援制度の拡充を図られたい。
- 4 ホームドアの設置促進など、鉄道利用者の安全確保及び安定輸送の確保による利便性向上に資する施策について、確実な予算措置を講じられたい。

平成28年11月

神奈川県鉄道輸送力増強促進会議

会 長 神奈川県知事 黒岩 祐治